

## 鏡山公園案内



鏡山公園は、戦国の武将、毛利元就の大河ドラマに登場した鏡山城の北側に位置する。地形的には谷あい、本来は稲を作るための大小の池が点々と並び、間には湿地も挟まっている。開園は1985年だが、広島大学と山陽線西条駅を結ぶ幹線道路、ブルーバールはまだ全線開通していなかった。その後88年に生物生産学部が福山から移転したとき、学生たちと花見をやったが、サクラの木があまりにも小さく、張り合いがなかった。以来40年、木は立派に育って、宴席を覆っている。

鏡山城址に上るには、公園側からがふつうである。しかし、城があった時代、生物生産学部の農場がある南側が、正面だったようだ。90年代前半から周辺の松が枯れ始め、城址のアウトラインが透けて見えるようになった。城址からは、西に広島大学西条キャンパス、北に西条市街、南に西条農高などを望むことができる。

鏡山公園へ自転車で訪れるには、ブルーバールを使って、西条駅方面か、広島大学方面から来るのが順当だろう。いずれも最後は坂道になるが、広島大からの坂道は相当にきつい。しかし、もっときついコースをお望みの方には、南側にあるサイエンスパークと広島大農場を抜け、峠を越える道がお勧めである。なかなか風情があり、新緑なんかもよいが、自転車で上る人をまず見たことがない（自分を除いて）。さらに隠れたコースは、国道375号旧道、御薊宇バス停近くにある、たかはし歯科医院の前から上る細い道。傾斜はさほどきつくない。公園下の駐車場で。



この記念碑に開園は昭和60(1985)年10月15日であると書いてあった

